



# Business Report 2016

第42期  
通期事業報告書  
平成28年1月1日～12月31日

株式会社ジョイフル  
〒870-0141 大分県大分市三川新町一丁目1番45号 TEL.097-551-7131(代)  
<http://www.joyfull.co.jp/>



# Business Report 2016

第42期通期事業報告書

Joyfull

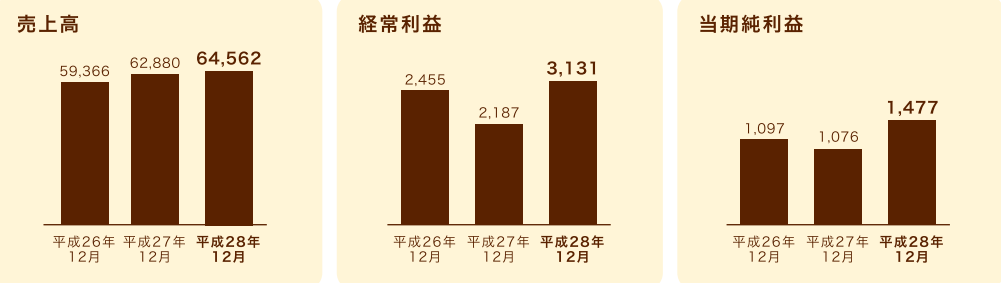
## 経営理念 Management Philosophy

私達は、チェーンレストラン事業を通じ、  
顧客・株主・従業員・取引先・社会の、  
精神的・物質的幸福を調和させ、その安定的増進を実現します。

## ジョイフル 店員の誓い Our Promise

私達は、ジョイフルの旗のもと、信頼される品質の店、低廉な価格の店、  
どこにでもあって、いつでも開いている店、気軽に快く過ごしていただける店として、  
永続的・安定的に営業し、皆様に愛される店となります。

## 連結業績 ハイライト Consolidated Results



株主の皆様へ

## 売上高645億円。創立40周年を迎えた 平成28年において、ジョイフル史上最高の 売上高を達成することができました。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ここに第42期(平成28年12月期)の通期事業報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただきますよう、宜しく願い申し上げます。

平成28年度の日本経済は、新興国経済の輸出・生産面の減速の影響や、国内個人消費に足踏みが見られるものの、雇用・所得環境の改善傾向が続いたほか、企業収益の改善により設備投資も持ち直しており、基調として緩やかな回復を継続している状況で推移しました。

しかしながら、当外食業界においては、消費者マインドの持ち直しに足踏みが見られるほか、労働力不足による人件費の更なる上昇、期中における急激な為替の変動による経済動向の不透明感の高まりなど、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、平成28年1月1日から持株会社体制へ移行し、経営戦略機能と地域に密着したグループ会社との意思決定を迅速化することで、当社の理念である「お値打ち感を主とした商品の提供」と「お客様視点に立ったサービスの実践」に取り組んでまいりました。

商品施策では、「商品開発プロセスの強化」による商品力および提供品質の向上を軸に、お客様の消費動向を捉えながら多様化する消費者ニーズに対応した商品施策を推進してまいりました。創立40周年を記念した復刻メニューやモーニング限定メニューの全時間帯提供、ランチタイムサービスの日曜・祝日実施など新たな取り組みを開始しており、お客様より高い評価をいただいております。

また、投資額を抑えた新ブランドタイプの「ジョイフル」を20店および当社が新業態として研究・開発を進めてきた和食カフェテリア業態「ごはん処 喜楽や」4店舗(はらぺこ丸の業態転換含む)をオープンしました。これに加え、旧ブランドタイプの店舗を新ブランドタイプに変更する「リブランディング」を60店舗実施しました。リブランディングを行った店舗は、お客様から好評で、売上を伸ばしております。

なお、平成28年は、熊本地震の影響による食材の廃棄、設備修繕費等を含む復旧に係る原状回復費用等1億1千万円を特別損失に計上いたしました。現在、熊本地震の影響はほぼ収束し、いったん閉店を決めたジョイフル川尻店も2017年1月に再オープンしています。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は3期連続増収の645億6千2百万円(前期比102.7%)となりました。これは、平成19年に達成した643億円を上回るもので、過去最高となります。また、営業利益も30億9千2百万円(前期比143.9%)、経常利益31億3千1百万円(前期比143.2%)となり、高い利益を上げることができました。

平成29年もジョイフルの原点である「リーズナブルでおいしい料理」「居心地のよい空間」をお客様にご提供するという理念をしっかりと守りつつ、創立50周年における外食上位10社入りをめざして、さらなる飛躍を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、  
今後とも当社へのご理解とご協力を  
賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

穴見 くるみ



※商品イメージ写真は実際に店舗で提供される盛付とは異なります。

## 新業態における取り組み

9月に1号店をオープンした和食カフェテリア方式の新業態「ごはん処 喜楽や」は、大分県内に4店(はらぺこ丸の業態転換含む)を出店しました。ごはん、味噌汁、漬物、きゃべつ、コーヒーがお替り自由という税込500円の定食は、ボリュームがあっておいしいというご意見をいただいております。少子高齢化が進む中、ヘルシーな食事をおひとりさまから気軽かつ安価に楽しんでいただくことを念頭に置いたコンセプトが、お客様から高く評価されております。なお、「ごはん処 喜楽や」の運営は、平成29年1月より株式会社ジョイフルから株式会社Rising Sun Food Systemへと移行しました。今後ファミリーレストラン ジョイフルにつくビジネスの柱として成長を加速いたします。



▲からあげ定食 500円(税込)

## 新規ビジネスに関する取り組み

ジョイフルの味をご家庭でお楽しみいただけるよう、ハンバーグの外販を開始しました。3月に九州エリアのスーパー「マックスバリュ」で実験販売をスタート。好調な滑り出しを受けて本格販売に踏み切り、現在では九州や本州の近畿エリアで販売しております。また、大分県国東市のふるさと納税のお礼の品としても選ばれ、全国のお客様にジョイフルの味を楽しんでいただいています。ハンバーグの外販はまだ売上は小さいものの、今後、ジョイフルグループの収益の柱としての成長を見込んでいます。



## 職場環境のさらなる改善

4月より、ジョイフルグループは新人事制度を導入いたしました。少子高齢化などが進む中、定年制度の撤廃、子育て支援の充実、介護休暇制度などの拡充を行いました。これにより、ワークライフバランスのとりやすい、働きやすい職場環境を実現しました。また、コンプライアンスへの取り組みも強化し、労働基準を遵守した職場作りを推進しました。



## 平成28年 主な取り組み結果

### 【熊本地震による影響について】

4月に発生した熊本地震では、ジョイフルグループが運営する95店舗とFCの2店舗を一時的にクローズしました。5月中旬以降、順次、通常営業を再開しておりますが、阿蘇赤水店のみ時短営業を行っております。また、被災した店舗での営業再開は困難と判断し、7月末に閉店をした川尻店については、平成29年1月に再オープンいたしました。なお、今回の地震による弊社業績への影響は1億1千万円となりました。店舗の一時的閉鎖、時短営業、定休日の一時的な設定等によるものです。

### ファミリーレストラン ジョイフルにおける取り組み

平成28年はモーニングおよびランチに関し、サービスの拡充に取り組みしました。2月にモーニングメニューの全年齢、全時間帯提供を開始。6月にはランチ施策を拡充しました。グリルランチの日・祝提供を開始するほか、日替り昼膳、日替りランチについては祝日の提供を開始しました。また、お盆および年末年始においてもランチの提供を行いました。出店に関しては、新店20店を関西以東を中心にオープンしました。一方で、5店舗(FC含む)を閉店いたしました。これにより、国内におけるジョイフルブランドの店舗は、777店舗となりました。また、新店出店と並行して、既存店舗のリブランディング(新ブランドタイプへのリニューアル)を60店舗行いました。これにより、新ブランドタイプの店舗は全国で134店となりました。健康志向が高まる中、完全分煙を実現した新ブランドタイプの店舗は、ファミリー層のお客様などから高い評価を受けており、リブランディングした店舗の売上は、好調に推移しております。



▲上：モーニングメニュー(イメージ)  
下：おすすめグリルランチ(イメージ)



## 平成29年 主な取り組み

### ファミリーレストラン ジョイフルにおける取り組み

#### ① 営業力の強化

営業力の更なる強化を目的として、引き続き魅力的な商品やサービスの導入を図ってまいります。本年はグランドメニューの改定回数を減らす一方、フェアの回数を増やします。購買力の向上、休後日の客数アップを見込んでおります。フェアの第1弾は、2月中旬からスタートした「ご当地フェア」です。FC様の店舗で提供されているメニューの一部を全国のジョイフルで販売しております。鹿児島名物「鶏飯丼」、長崎名物「トルコライス」、沖縄名物「沖縄風そば」など地方色が濃いメニューは、ジョイフルの定番メニューとは違う目新しさで、お客様の好評を博しております。「ご当地フェア」以降も、食のトレンドを意識した商品などを投入すべく、鋭意開発しております。ジョイフルではこれからも、「リーズナブル」で「おいしい」料理をより多くのお客様に提供することを目的とし、商品開発の強化に取り組んでまいります。



▲鶏飯丼 584円(税込)

▲沖縄風そば 584円(税込)

#### ② 新店出店とリブランディングの加速

関西以东を中心に、30店の新規出店を予定しております。また、リブランディングに関しては、150店舗予定しております。新規出店およびリブランディングに積極的に取り組むことにより、売上のさらなる拡大を目指します。

#### ③ 職場環境のさらなる改善

職場環境の改善に、さらに取り組みます。コンプライアンスを遵守し、ワークライフバランスのとれる職場環境づくりを推進してまいります。



### 新業態における取り組み



和食カフェテリア「ごはん処 喜楽や」は、新店10店を九州エリアにオープンする予定です。ロードサイド型に加え、人口の多い地域、狭小物件への出店にも取り組みます。店舗数を積極的に増やし、本格的な多店舗展開に取り組むことで、ファミリーレストラン ジョイフルにつぐ、ビジネスの柱へと成長させてまいります。

### 新規ビジネスに関する取り組み



ハンバーグの外販は、販路の拡大を目指して取り組みます。スーパーでの販売を強化し、本州方面での売上を拡大するほか、ふるさと納税の返礼品やインターネット通販など、新たな販路の拡大を模索し、売上拡大を目指します。

### 海外進出 | 台湾1号店オープン

平成28年10月、台湾進出を果たしました。ジョイフルブランドの店舗で、正式名称は「台湾珍有福」。現地で高級中華料理店「頂鮮101」などを展開する企業「台南擔仔麵股份有限公司」との共同出資によるものです。店舗は台北の北部(大直エリア)に位置しています。敷地面積は約2339平方メートルで、店舗面積は745平方メートル。卓数は83卓、客席数は244席となっています。「台湾珍有福」では、国内で提供しているグランドメニューに加え、台湾向けに開発したメニュー「天丼」や、日本ではフェアでのみご提供している「すき焼き鍋定食」などがラインアップされており、現地のお客様にご好評を得ております。本年以降、本格的にビジネスを立ち上げてまいります。



連結  
財務諸表

Consolidated  
Financial  
Statement

資産の部

当連結会計年度末の総資産は284億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億3千8百万円の増加となりました。これは主に、未収消費税等の増加15億9千8百万円、有形固定資産の増加10億5百万円、貸付金の増加1億7千1百万円によるものであります。

Point

負債の部

当連結会計年度末の負債合計は126億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億4千8百万円の増加となりました。これは主に、未払消費税の増加14億7千5百万円、未払法人税等の増加4億8千3百万円、未払金の増加3億2千5百万円によるものであります。

Point

純資産の部

当連結会計年度末における純資産は158億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億9千万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加8億8千9百万円によるものであります。

Point

売上高

売上高は、645億6千2百万円(前期比102.7%)と過去最高を記録しました。新店を23店オープンさせたことに加え、創立40周年を記念した復刻メニュー、モーニング限定メニューの全時間帯提供、ランチタイムサービスの日曜・祝日実施などがお客様に支持されました。

Point

営業利益・経常利益

営業利益は前期比43.9%増の30億9千2百万円、経常利益は前期比43.2%増の31億3千1百万円となりました。これは主に、原材料価格の下落による売上原価率の減少に起因するものです。

Point

連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

| 科目            | 前連結会計年度<br>(平成27年12月31日) | 当連結会計年度<br>(平成28年12月31日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| <b>資産の部</b>   |                          |                          |
| 流動資産          | 5,480                    | 7,335                    |
| 固定資産          | 19,866                   | 21,149                   |
| 有形固定資産        | 14,813                   | 15,819                   |
| 無形固定資産        | 72                       | 118                      |
| 投資その他の資産      | 4,980                    | 5,212                    |
| 資産合計          | 25,346                   | 28,485                   |
| <b>負債の部</b>   |                          |                          |
| 流動負債          | 7,207                    | 9,401                    |
| 固定負債          | 3,149                    | 3,203                    |
| 負債合計          | 10,357                   | 12,605                   |
| <b>純資産の部</b>  |                          |                          |
| 株主資本          | 15,006                   | 15,895                   |
| 資本金           | 6,000                    | 6,000                    |
| 資本剰余金         | 2,390                    | 2,390                    |
| 利益剰余金         | 10,388                   | 11,277                   |
| 自己株式          | △3,771                   | △3,772                   |
| その他の包括利益累計額合計 | △17                      | △15                      |
| その他有価証券評価差額金  | 11                       | 4                        |
| 純資産合計         | 14,989                   | 15,879                   |
| 負債純資産合計       | 25,346                   | 28,485                   |

連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

| 科目              | 前連結会計年度<br>(自平成27年1月1日<br>至平成27年12月31日) | 当連結会計年度<br>(自平成28年1月1日<br>至平成28年12月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高             | 62,880                                  | 64,562                                  |
| 売上原価            | 22,687                                  | 21,833                                  |
| 売上総利益           | 40,192                                  | 42,728                                  |
| 販売費及び一般管理費      | 38,043                                  | 39,636                                  |
| 営業利益            | 2,149                                   | 3,092                                   |
| 営業外収益合計         | 139                                     | 153                                     |
| 営業外費用合計         | 101                                     | 114                                     |
| 経常利益            | 2,187                                   | 3,131                                   |
| 税金等調整前当期純利益     | 2,050                                   | 2,572                                   |
| 法人税、住民税及び事業税    | 831                                     | 1,176                                   |
| 法人税等調整額         | 142                                     | △81                                     |
| 当期純利益           | 1,076                                   | 1,477                                   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,076                                   | 1,477                                   |

※金額は百万円未満を切捨表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

| 科目                      | 前連結会計年度<br>(自平成27年1月1日<br>至平成27年12月31日) | 当連結会計年度<br>(自平成28年1月1日<br>至平成28年12月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー    | 2,254                                   | 3,700                                   |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー    | △1,271                                  | △2,532                                  |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー    | △1,166                                  | △1,116                                  |
| 現金及び現金同等物の<br>増減額(△は減少) | △183                                    | 51                                      |
| 現金及び現金同等物の<br>期首残高      | 3,288                                   | 3,104                                   |
| 現金及び現金同等物の<br>期末残高      | 3,104                                   | 3,156                                   |

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、37億円(前期比64.1%増)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益25億7千2百万円、減価償却費12億1千5百万円、減損損失4億4千9百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額6億6千1百万円です。

Point

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、25億3千2百万円(前期比99.2%増)となりました。支出の主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出22億4千2百万円、貸付けによる支出1億9千5百万円、敷金及び保証金の差入による支出1億1千万円です。

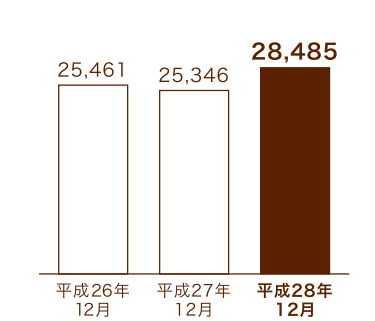
Point

財務活動によるキャッシュ・フロー

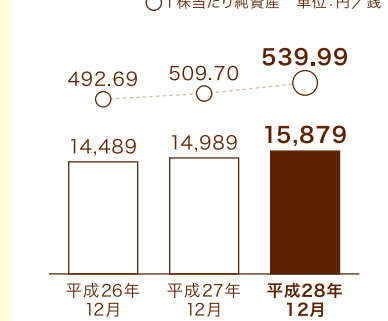
財務活動の結果使用した資金は、11億1千6百万円(前期比4.3%減)となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額5億8千8百万円、長期借入金の返済による支出2億7千2百万円です。

Point

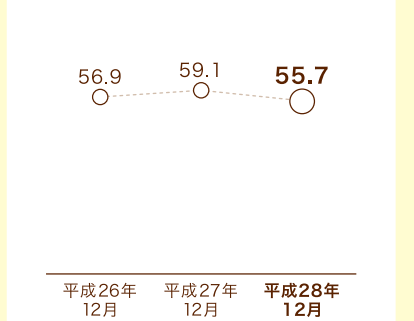
総資産 (単位:百万円)



純資産 (単位:百万円)



自己資本比率 (単位:%)



株式情報  
Stock Information

株式の状況

発行可能株式総数  
120,000,000 株

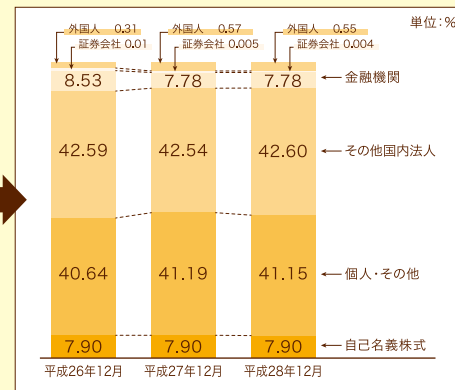
発行済株式総数  
31,931,900 株

株主数  
12,884 名

株式の所有者別状況

|         | 平成26年12月31日現在 |            | 平成27年12月31日現在 |            | 平成28年12月31日現在 |            |
|---------|---------------|------------|---------------|------------|---------------|------------|
|         | 株主数(名)        | 株式数(株)     | 株主数(名)        | 株式数(株)     | 株主数(名)        | 株式数(株)     |
| 証券会社    | 9             | 4,572      | 7             | 1,772      | 6             | 1,572      |
| 外国人     | 18            | 99,400     | 26            | 183,500    | 23            | 175,900    |
| 金融機関    | 14            | 2,725,162  | 13            | 2,485,262  | 13            | 2,486,062  |
| その他国内法人 | 82            | 13,600,080 | 86            | 13,584,180 | 91            | 13,603,280 |
| 個人・その他  | 11,577        | 12,978,822 | 12,459        | 13,153,224 | 12,750        | 13,140,994 |
| 自己名義株式  | 1             | 2,523,864  | 1             | 2,523,962  | 1             | 2,524,092  |
| 合計      | 11,701        | 31,931,900 | 12,592        | 31,931,900 | 12,884        | 31,931,900 |

株式の所有者別構成比率の推移



株主メモ

**事業年度** 毎年1月1日から12月31日  
**定時株主総会** 毎年3月  
**基準日** 定時株主総会の議決権/毎年12月31日  
 期末配当金/毎年12月31日  
 中間配当金/毎年6月30日(中間配当を実施する場合)  
**単元株式数** 100株  
**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
**特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
**郵便物送付先** 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
**(電話照会先)** TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)  
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の  
 本店および全国各支店で行っております。  
**公告の方法** 電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により  
 電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
**公告掲載URL** <http://www.joyfull.co.jp/>  
**上場取引所** 福岡証券取引所

- ◎住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について  
株主様の口座がある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました  
株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行  
株式会社にお申し出ください。
- ◎未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- ◎「配当金計算書」について  
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措  
置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告  
を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、  
配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいて  
おります。※確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

会社情報・  
店舗情報  
About Us

店舗一覧 店舗ネットワーク

782 店

うちFC店舗54店 ※( )内はFC店舗  
※平成28年12月末時点 ※新業態  
含む(喜楽や4店舗、陽菜多1店舗)  
※海外除く

九州・沖縄エリア

407 店

福岡 120(3) 大分 59(3)  
佐賀 35 宮崎 45(1)  
長崎 28(27) 鹿児島 58(7)  
熊本 52(2) 沖縄 10(10)

中国エリア

106 店

鳥取 4 広島 25  
島根 10 山口 39(1)  
岡山 28

北陸エリア

15 店

富山 7 福井 1  
石川 7

東北エリア

14 店

宮城 13 福島 1

関東エリア

66 店

茨城 14 埼玉 13  
栃木 13 千葉 10  
群馬 13 東京 3

中部エリア

63 店

岐阜 13 愛知 31  
静岡 12 三重 7

四国エリア

48 店

徳島 6 愛媛 21  
香川 15 高知 6

近畿エリア

63 店

滋賀 12 兵庫 22  
京都 9 奈良 7  
大阪 7 和歌山 6

会社概要 (平成28年12月31日現在)

|             |                      |        |   |        |                          |
|-------------|----------------------|--------|---|--------|--------------------------|
| 社名          | 株式会社ジョイフル            | 創業     | 昭和40年6月   | 資本金    | 60億円                     |
| 本社所在地       | 大分県大分市三川新町一丁目1番45号   | 創立     | 昭和51年5月   | 主な事業内容 | 「ファミリーレストランジョイフル」のチェーン展開 |
| 大分工場        | 大分県大分市三川新町一丁目1番45号   | グループ会社 | 株式会社ジョイフル東関東・東北/株式会社ジョイフル西関東・北陸/株式会社ジョイフル東海/株式会社ジョイフル近畿/株式会社ジョイフル中国/株式会社ジョイフル四国/株式会社ジョイフル北九州/株式会社ジョイフル中九州/株式会社ジョイフル東九州/株式会社ジョイフル西九州/株式会社ジョイフル南九州/株式会社Rising Sun Food System/株式会社ジョイフルサービス/台湾珍有福餐飲股份有限公司 |        |                          |
| 大分配送センター    | 大分県大分市下郡3410番1号      |        |   |        |                          |
| 熊本工場・配送センター | 熊本県菊池市袈裟尾字下大迫445番4号  |        |   |        |                          |
| 愛知工場        | 愛知県豊川市御津町佐藤浜三号地1番17号 |        |   |        |                          |